


研究機関名	愛知教育大学				
プログラム名	“天気予報のツボ”: 気象実験や、実データによる予報作成・検証体験と合わせて学ぶ				
先生(代表者)	田口正和(たぐちまさかず)・教育学部・准教授				
自己紹介	私は、気象学を研究する中で、天気予報の特性を調査する機会を得ました。私の研究では、大気の大規模な変動やその予報の様子等、特に上空成層圏領域を専門にしています。ここでは、その機会を生かして、身近なようで実はよく知られていない、“天気予報のツボ”等を紹介できればと思います。				
開催日・募集対象	令和3年8月7日(土)	受講対象者	中学生 高校生	募集人数	25名
集合場所・時間	愛知教育大学 自然科学棟 地学系理科実験実習室(501室)		(集合時間)	9:30	
開催会場	愛知教育大学 自然科学棟 地学系理科実験実習室(501室) 住所: 〒448-8542 愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢1 アクセスマップ URL: http://www.aichi-edu.ac.jp/access/index.html http://www.aichi-edu.ac.jp/campusmap/ (の建物)				
内 容					
<p>皆さんは、普段から天気予報を見る中で、どのようにして天気は予報できるのか疑問に思ったことはありませんか。天気予報が外れた場合には、どうして外れるのだろうか疑問は湧きませんか。</p> <p>天気予報は、身近な天気変化を、最新の気象学の知見と大規模な数値計算等で捉えようとする試みと言えます。予報精度は年々向上していますが、さらなる改善の取り組みが継続されています(成層圏現象の表現を良くすることも含まれています)。</p> <p>このプログラムでは、天気予報の仕組みや歴史・現状等の講義に加えて、実際の事例・データによる分析実習や予報作成体験、気象実験等の様々な内容を予定しています。色々な角度から“天気予報のツボ”を勉強し、“天気予報ファン”になってみませんか。</p> <p>高校生の場合、理系・文系の両方を対象にしています。高校・地学あるいは地学基礎の受講を前提にしません。</p>					
持ち物			特記事項		
<ul style="list-style-type: none"> ・筆記用具 ・お茶等 			<ul style="list-style-type: none"> ・昼食(お弁当とお茶)と茶菓を用意いたします。アレルギー等のある受講生は、各自で昼食等をご用意ください。 ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策等のため、プログラムの中止または延期、教室の変更、募集人数の抑制がありえます。予めご了承ください。 		

スケジュール

- 9:30 ~ 10:00 受付(集合場所:自然科学棟5階 地学系理科実験実習室 501 室前)
- 10:00 ~ 10:20 開講式(挨拶、オリエンテーション、科研費の説明、自己紹介)
- 10:20 ~ 10:50 講義1「身近な天気と天気予報(講師:田口正和)」(終了後 10 分休憩)
- 11:00 ~ 12:30 実験「気圧・上昇流・凝結を見てみよう(講師:学外協力者)」
- 12:30 ~ 13:30 昼食・休憩
- 13:30 ~ 15:00 実習「天気予報を作成・検証してみよう(講師:学外協力者)」
- 15:00 ~ 15:20 クッキータイム
- 15:20 ~ 16:00 講義2「天気予報のツボ(講師:田口正和)」(終了後 10 分休憩)
- 16:10 ~ 16:30 修了式(未来博士号の授与)
- 16:30 終了・解散

課題番号	21HT0113	分野	地学・物理	キーワード	天気予報
------	----------	----	-------	-------	------

《お問合せ・お申込先》

所属・氏名	愛知教育大学 財務・学術部 学術研究支援課 研究支援係・小笠原有香、杉村和美
住所	〒448-8542 愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢1
TEL 番号	0566-26-2119
FAX 番号	0566-26-2210
E-mail	renkei@m.auecc.aichi-edu.ac.jp
申込締切日	2021年7月7日(水)
当プログラムは先着順にて受付を行います。	

《プログラムと関係する先生(実施代表者)の科研費》

研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
2015年度 ~ 2018年度	基盤研究(C)(一般)	15K05286	成層圏突然昇温・極渦強化の予測可能性と対流圏への影響
2011年度 ~ 2013年度	若手研究(B)	23740353	エルニーニョ・南方振動に伴う準二年周期振動の変調と力学
2008年度 ~ 2010年度	若手研究(B)	20740272	対流圏-成層圏における惑星波の季節内・年々変動:観測と大気大循環モデル



この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<https://nrid.nii.ac.jp/ja/nrid/1000050397527>

国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。